



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場会社名 アンドール株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4640 URL http://www.andor.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)和田 良明  
 問合せ先責任者 (役職名)管理部長 (氏名)田中 定行 (TEL)03(3243)1711  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	1,902	△5.6	90	△14.9	96	△31.3	58	4.9
28年3月期第3四半期	2,015	△5.6	106	△14.4	140	△21.1	55	△55.3

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 68百万円(—%) 28年3月期第3四半期 △21百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	11.21	—
28年3月期第3四半期	10.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	2,108	1,609	76.3
28年3月期	2,132	1,556	73.0

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 1,609百万円 28年3月期 1,556百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,600	△4.4	150	△10.8	155	△23.7	90	△4.1	17.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規—社(社名) 、除外—社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	5,184,140株	28年3月期	5,184,140株
29年3月期3Q	6,244株	28年3月期	6,244株
29年3月期3Q	5,177,896株	28年3月期3Q	5,177,896株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善を背景に穏やかな回復基調で推移したものの、英国のEU離脱問題や米国の政権交代に伴う経済政策転換への懸念等、世界経済の不確実性により先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、独自のソリューションシステムで主に日本の代表的な基幹産業の自動車・重工業・精密機器や電気機器等の設計の礎となるCAD設計から、アプリケーションソフト開発、カスタマイジング、保守運用に至るまで総合エンジニアリングサービスで多様化するお客様のニーズにお応えする事業を推進しております。

当第3四半期連結累計期間につきましては、売上高は1,902,106千円（前年同期比5.6%減）となり、営業利益が90,855千円（前年同期比14.9%減）、経常利益は96,907千円（前年同期比31.3%減）となりました。

投資有価証券売却益11,412千円、投資有価証券評価損20,453千円、法人税、住民税及び事業税20,316千円、法人税等調整額9,512千円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は58,036千円（前年同期比4.9%増）となりました。

セグメントごとの業績は下記のようにしております。

#### I プロダクツ事業

自社の開発商品であるソフトウェア、附帯するハードウェア機器を販売し、導入・保守・運用を行っております。

パッケージソフト開発・販売としては、2次元CADソフト「CADSUPER」ならびに「CADSUPER Lite」、3次元CADシステム「CADSUPER Works」、2.5次元CAMソフト「CAMCORE EX」等のCAD/CAM関連製品を主力製品として取り扱っております。

システム商品販売としては、自社開発製品をベースに他社との協業でのトータルソリューション製品を販売し、お客様のニーズに適合するシステムを提供することによりお客様指向、問題解決指向型の提案営業を行っております。3Dプリンタ関連事業につきましては機器販売と造形サービスの相乗効果による提案を実施しております。

導入運用サービスとしては、自社製品販売に伴う導入・保守・運用・サポート収入が主体であります。

売上高については予定通りに推移したものの、自社製品ソフトのWindows以外のOSへの対応、新商品の開発等に伴う予定外の人件費の増加等の影響により、この事業の売上高は408,357千円（前年同期比0.4%増）となり、営業利益は40,227千円（前年同期比15.1%減）となりました。

#### II エンジニアリングサービス事業

業務系・制御系・LSI設計・回路設計・機械設計等の豊富な経験を持つ技術者が、受託開発からアウトソーシング・技術者派遣まで、ソフトウェア分野からCAD技術を生かした設計サービス分野において、総合エンジニアリングサービスを行っております。

当第3四半期連結会計期間においては、エンジニア稼働率の改善が見られたものの、上半期におけるエンジニア稼働率の低下と若手エンジニアの育成費用の増加等により、この事業の売上高は1,476,732千円（前年同期比7.3%減）となり、営業利益は42,717千円（前年同期比17.3%減）となりました。

#### III 不動産事業

不動産の賃貸料を売上高に計上しております。

この事業の売上高は17,016千円（前年同期比0.9%増）となり、営業利益は7,910千円（前年同期比3.0%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、預け金の増加（66,000千円から142,505千円へ）76,504千円、ソフトウェア仮勘定の増加（2,787千円から46,948千円へ）44,161千円等があったものの、現金及び預金の減少（790,749千円から760,982千円へ）29,767千円、受取手形及び売掛金の減少（424,524千円から367,852千円へ）56,671千円、ソフトウェアの減少（101,821千円から66,382千円へ）35,439千円、投資有価証券の減少（281,087千円から270,086千円へ）11,000千円等により、前連結会計年度末に比べ24,306千円減少の2,108,248千円となりました。

負債は、その他流動負債の増加（96,774千円から130,788千円へ）34,013千円、退職給付に係る負債の増加（174,485千円から187,050千円へ）12,565千円等があったものの、支払手形及び買掛金の減少（87,399千円から51,755千円へ）35,644千円、未払法人税等の減少（70,082千円から4,345千円へ）65,736千円、賞与引当金の減少（51,477千円から30,683千円へ）20,793千円等により、前連結会計年度末に比べ77,229千円減少の498,625千円となりました。

純資産は、配当金の総額15,533千円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上58,036千円、その他有価証券評価差額金の増加(49,160千円から59,580千円へ)10,420千円により、前連結会計年度末に比べ52,922千円増加の1,609,623千円となり、自己資本比率は76.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年11月11日公表の「第2四半期連結業績予想値と実績値の差異及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来の予想に対する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物付属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。なお、当第3四半期連結累計期間において四半期連結財務諸表への影響額はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する運用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	790,749	760,982
受取手形及び売掛金	424,524	367,852
有価証券	9,707	-
商品及び製品	584	746
仕掛品	3,927	3,446
貯蔵品	4,728	3,988
預け金	66,000	142,505
繰延税金資産	24,459	12,148
その他	29,051	42,919
流動資産合計	1,353,733	1,334,590
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	116,021	112,839
土地	189,346	189,346
その他(純額)	2,410	1,902
有形固定資産合計	307,779	304,087
無形固定資産		
ソフトウェア	101,821	66,382
ソフトウェア仮勘定	2,787	46,948
その他	3,219	3,219
無形固定資産合計	107,828	116,550
投資その他の資産		
投資有価証券	281,087	270,086
破産更生債権等	698	698
長期貸付金	170	125
繰延税金資産	54,132	55,683
その他	35,048	34,349
貸倒引当金	△7,923	△7,923
投資その他の資産合計	363,213	353,019
固定資産合計	778,821	773,658
資産合計	2,132,554	2,108,248

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	87,399	51,755
未払法人税等	70,082	4,345
前受金	81,073	82,231
賞与引当金	51,477	30,683
その他	96,774	130,788
流動負債合計	386,806	299,803
固定負債		
役員退職慰労引当金	12,817	10,057
退職給付に係る負債	174,485	187,050
その他	1,745	1,713
固定負債合計	189,048	198,821
負債合計	575,854	498,625
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	501,889	501,889
利益剰余金	1,007,539	1,050,041
自己株式	△1,888	△1,888
株主資本合計	1,507,540	1,550,042
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	49,160	59,580
その他の包括利益累計額合計	49,160	59,580
純資産合計	1,556,700	1,609,623
負債純資産合計	2,132,554	2,108,248

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	2,015,585	1,902,106
売上原価	1,583,251	1,491,096
売上総利益	432,334	411,010
販売費及び一般管理費	325,585	320,154
営業利益	106,748	90,855
営業外収益		
受取利息	417	376
受取配当金	3,496	4,561
固定資産賃貸料	1,053	1,053
持分法による投資利益	29,158	-
雑収入	263	180
営業外収益合計	34,388	6,172
営業外費用		
支払利息	125	119
雑損失	49	1
営業外費用合計	174	120
経常利益	140,961	96,907
特別利益		
投資有価証券売却益	2,499	11,412
特別利益合計	2,499	11,412
特別損失		
投資有価証券売却損	25,280	-
投資有価証券評価損	-	20,453
特別損失合計	25,280	20,453
税金等調整前四半期純利益	118,180	87,865
法人税、住民税及び事業税	59,664	20,316
法人税等調整額	3,178	9,512
法人税等合計	62,843	29,829
四半期純利益	55,337	58,036
親会社株主に帰属する四半期純利益	55,337	58,036

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	55,337	58,036
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△70,770	10,420
持分法適用会社に対する持分相当額	△5,837	-
その他の包括利益合計	△76,608	10,420
四半期包括利益	△21,270	68,456
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△21,270	68,456
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	プロダクツ事業	エンジニアリングサービス事業	不動産事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	406,531	1,592,190	16,863	2,015,585	2,015,585
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	406,531	1,592,190	16,863	2,015,585	2,015,585
セグメント利益	47,407	51,657	7,683	106,748	106,748

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	プロダクツ事業	エンジニアリングサービス事業	不動産事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	408,357	1,476,732	17,016	1,902,106	1,902,106
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	408,357	1,476,732	17,016	1,902,106	1,902,106
セグメント利益	40,227	42,717	7,910	90,855	90,855

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。